長久保赤水

NAGAKUBO ● SEKISUI

◀長久保赤水 自画像

関係資料693点が国民の財産に

祝 国の重要文化財指定が決まる

長久保赤水関連資料 693 点の国重要文化財指定が決まる。この資料群は、長久保赤水の子孫にあたる複数の家などに伝来した赤水手沢の一括資料で、地図・絵画類 84 点、文書・記録類 279 点、典籍類 274 点、書画・器物類 56 点から構成される。

赤水の学問の内容、交友関係、生活の事績を考える上で最もまとまった資料群で、江戸中後期の文化史、地図史等の学術的な研究上に価値が高い。

明治維新エネルギーの起爆剤「赤水図」

日本地図といえば伊能忠敬を思い浮かべる人が多いようですが、伊能図は幕府に入り秘蔵され、実は江戸時代に一般庶民の目に触れることはなかったのです。これに対し、長久保赤水の赤水図は、江戸時代末期までの約 100 年間ベストセラーとなり、吉田松陰も愛読したと言われています。明治維新のエネルギーは、この赤水図をもとに生まれたとも言えます。

初めて経緯線の入った日本地図を発刊し大衆化

赤水は地図に天文学の知識を取り入れ、初めて経緯線の入った日本地図を発刊し大衆化しました。彼の特徴は実用性です。歩くための情報を収集し、手間がかかる作業を重ねた緻密図です。正しい知識と現実の文化・地理の違いに精通し、次の展開を予想させる斬新な内容が多くあったので、正確で詳細な地図が作られたのです。

松下村塾や全国の藩校で使われた赤水図

遠隔にハワード藩領を含む点も、伊能図は江戸幕府の秘図のため、ごく限られた高位置人しか見ることができず、明治初年まで一般人は利用できませんでした。このため、誰の目でも利用を目的の全国の藩校で使われていたのは、赤水の日本図、甲陽地図、世界地図、中国地図図解でした。江戸時代のように、日本が世界のどこにあり、今自分がその中のどこに立っているかを教えてくれた地図です。幕末の開明期に、諸外国が日本を植民地化しようと押し寄せて来た時に、日本を救ったのが赤水図なのです。

伊能忠敬も赤水図を測量にも携帯

小笠原諸島の「測量日記」には、『伊能忠敬は幕府の命令で日本地図を製作している。人に対して「私は幕府を欺き続けて実際で地図を作ったが、非常に苦しいと感じる。世界の長方形状況がなくらして地図を作ったことは、非常に感じる」と言っている』さらに『江戸日記』や『測量日記』に『忠敬も赤水図を携帯してその測量にも携帯して（御用者携帯している）』とあります。

世界に通用した日本が誇れる先人、長久保赤水

長久保赤水は、明治 40 年 6 月 7 日に、日本地図や日本全地理図編纂などの功績で、従四位を贈られました。赤水の故郷の現大田市は松江藩でした。松平治郷、松平斉恒、松平定安、松平直亮、大橋訥庵、岩崎灌園などとともに、5 番目に長久保赤水（赤水）の名前があります。この時の表彰者は全部で 71 名でした。

長久保赤水 1717～1801

1717年、常陸国中野村（現在の高萩市）の農家に生まれた赤水は、幼少の頃から地図に興味を持ち、江戸に出て学問を修めました。赤水は、江戸で学問を修めるかたわら、全国の地図を収集し、研究を重ねました。

その後、赤水は、江戸で学問を修めるかたわら、全国の地図を収集し、研究を重ねました。

赤水の功績としてよく知られるのが、1779年に完成、翌年の春に刊行した「改製日本分里図」です。この地図は、赤水が30年以上にわたって収集した資料をもとに、正確な日本地図を作ろうとしたものです。

この地図は、赤水が30年以上にわたって収集した資料をもとに、正確な日本地図を作ろうとしたものです。

また、赤水は、地図だけでなく、地理書や歴史書も著しました。

その代表的なものが、『改正日本輿地路程全図』です。この地図は、赤水が30年以上にわたって収集した資料をもとに、正確な日本地図を作ろうとしたものです。

赤水は、1801年（享和元年）に85歳で亡くなりました。

赤水の墓は、郷土の人々に愛されてきました。

ご挨拶

高萩市長
大井川　和彦

この度、「長久保赤水関連資料」693点が、国の文化審議会の答申を受け、国指定重要文化財に指定される運びとなりましたことを、心からお祝い申し上げます。本資料の学術的価値が高く評価されましたことは、これまで永きにわたり保存と活用に熱心に取り組まれた長久保赤水顕彰会さまはじめ関係者の皆様の大変なご努力の賜物であり、深く敬意を表するものです。

本市では、平成29年1月に、「長久保赤水関連資料」を、赤水の地図製作過程をはじめ天文学等の観測に係る学術的価値が極めて高い資料群として、茨城県指定有形文化財（歴史資料）に指定いたしました。

この度、本資料が国指定重要文化財に指定されることで、長久保赤水の人となりや功績が国内外にますます広く知っていただけますことや、郷土の偉大な先人を顕彰してまいります。

高萩市長
大部　勝規

今後とも、関係の皆さまとなお一層赤水資料の保存と活用を図ってまいりますとともに、赤水の研鑽の成果として残りました日本図は、赤水の功績を裏付け、国内外において日本の優れた情報に大きな貢献をしました。私たちも赤水にならい、資料の体系的な活用を図るとともに、国内外へ赤水の業績を広めていきたいと考えております。

今年度策定しました高萩市観光振興計画では「長久保赤水ゆかりの地（聖地）」を、積極的な活用する観光コンテンツとして位置づけております。本市としては、長久保赤水について学び、顕彰することで、活気あるまちづくりを進めてまいります。

「赤水図」原寸大レプリカを記念発行!!

長久保赤水顕彰会会長
佐川　春久

長久保赤水顕彰会は、赤水先生生誕300年にあたる平成29年11月6日の誕生日に設立されました。

その後、2017年の生誕300年を経て、今日まで各方面の皆様方のお力添えをいただきながら、この日、ようやく、赤水の重要文化財指定が決まりました。お世話になりました各方面の皆様方に対し、この場をお借りしてお礼申し上げます。

また、今後は、「学ぼう赤水　教科書に載せて　広げよう世界へ」「ひとっこの市は『大河ドラマ長久保赤水版』を実現しよう！」「長久保赤水記念館の開館」の三本柱を掲げ、会員一丸となって活動してまいります。

さらに、今年の11月6日には、『赤水図』原寸大レプリカ【高萩刷り】を発行します。このため、現在、クラウドファンディングで寄付金を募っております。なお、10万円以上ご寄付いただきました企業には、レプリカ裏面上に会社名を記入いたします。詳しくは、パソコンやスマートフォンで「長久保赤水　キャンプファイヤー」と一括検索してください。そして、私どもの活動をご支援いただきますようお願いします。

長久保赤水年表

西暦	年齢	事績
1717	1	常陸国中野村（現在の高萩市）の農家に生まれる。
1730	14	江戸に出て学問を修める。
1740	24	全国の地図を収集し始める。
1750	34	地図の研究を重ねる。
1760	44	日本地図の作成に着手する。
1770	54	日本地図の完成に近づく。
1779	63	「改製日本分里図」を完成させる。
1780	64	「改製日本分里図」を刊行する。
1785	69	「改正日本輿地路程全図」を著す。
1790	74	「日本輿地図解」を著す。
1801	85	江戸で死去する。

改製日本分里図

20年以上の歳月をかけて作成した『改製日本分里図』は生々しい修正痕が残り、長久保赤水の「汗と英知の結晶」であることがわかる。

▼「赤水図」の原図　明和5（1768）年

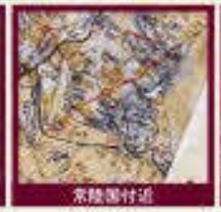
和紙を幾重にも貼り、考証を重ね、試刷による修正を加えていた

九州南部付近

出雲国付近

丹後国付近

越後国・越中国付近


常陸国付近

下北半島付近

◆国の重要文化財指定記念　原寸大『赤水図』レプリカ（高萩・両面刷り）

令和2年11月6日（赤水の誕生日）発行予定！

【表面】
表面には、【赤水図で知られる】の「東北遊日記」の足跡を辿ろう！】裏面には、【赤水図の変遷】を掲載。
原図、初版、第2版、第3版、第4版、第5版を比較できるA3版のレプリカです。
【制作見本】

みなさまのご協力お願い致します

高萩・赤水を愛する皆様へ

10万円で

スポンサー企業名の掲載権

クラウドファンディング10万円以上の法人寄付につきましては、原寸大『赤水図』レプリカの裏面下部に企業名が入ります。

【裏面】

こちらに企業名を掲載させていただきます

絵本「りゅうのひかり」

絵・時崎進　文・瀬戸吉徳

現役高校教生も推薦！
「赤水図」に書かれた「御加弁国の疑惑」の謎に迫る……

赤水は、『赤水図』と呼ばれる『改正日本輿地路程全図』（第2版）の中に、福島県いわき市の御加弁郡の疑惑について下記のように記しています。

また、『東北遊日記』の地図中紀行文の『東海紀行』、さらには、『赤水文書』の中にも、その記述を残しています。なぜ記述を残したのでしょうか？その謎に迫ります。

好評販売中　A4変形 36ページ　定価1,000円＋税

長久保赤水顕彰会事務局

〒319-0301　高萩市大能 341　代表　佐川 春久

Eメール　：haruhisagawa@yahoo.co.jp
ホームページ：http://nagakubosekisui.org/

顕彰会会員募集

長久保赤水顕彰会は現在 117 名で活動しています（6 月 20 日現在）。
国の重要文化財指定活動を続け、会員 1,000 名を目指し募集しております！
また、『赤水』の寄付金も募集しております。活動のご賛同よろしくお願い致します。

寄付金募る！「長久保赤水　キャンプファイヤー」で検索!!

「長久保赤水顕彰会」では、国の重要文化財指定活動の為、7月29日から クラウドファンディング「CAMPFIRE（キャンプファイヤー）」において寄付型寄付を募っています。「長久保赤水　キャンプファイヤー」で検索または、右の QR コードから下のリターンから応援プロジェクトページにアクセスいただきご支援をよろしくお願い致します。
https://camp-fire.jp/projects/view/249558